

このことについて、栃木県立学校における学校評価実施要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

○重点目標

- ①生徒の日々の成長を、生徒と教員がともに実感できる授業の展開
- ②考える力の育成
- ③地域から信頼され、地域に貢献できる学校づくり

○設定理由

- ①学校・教員は、「生徒の成長を保証する」という役割を持っている。日々の授業において、新しい理論を学び、今までに無かった考え方を身に付け、何か新しいことができるようになる様な授業を実践していくこと。生徒自身が授業終了後に新しい何かを身につけることができたという実感を持つこと。同時に教員も生徒の成長を見届け、やりがいを感じることができるよう授業が望ましい。このような心がけを教員一人ひとりが持つことによって、卒業するまでに多くの成長を積み重ね、確実な力を身に付けさせる。
- ②近年の生徒は、生活のほとんどをスマートフォン等に頼っているため、自ら考えることが苦手になっている。また、小さい頃から「やり方」は学んでいるが、なぜそうなるのかという理論を教わっていないように感じる。そこで、時間はかかるかもしれないが、こつこつと原理原則や理論を教え、技術的な裏付け等も加えながら、【考える力】を育成していくことが重要である。また、【やり方】も大切である。それを教えることも重要なことだが、必ず理論や理屈があることを付け加えた授業を心がける。また、生活面でも考える力の育成が重要である。「よく考えて行動する」習慣を身に付けるには、普段から落ち着いて考えさせることが必要である。根気強く考えさせる習慣を身に付ける生徒指導を実践する。
- ③「どうすれば地域から信頼される学校になるのか。」これは、教員一人ひとりが倫理観を高め、生徒を成長させるために誠実に対応することしか方法はない。保護者や地域社会の方々は、在校生の姿を見て、学校がどのように生徒に接しているのかを評価する。また、地域企業の方々は、卒業生の実力や人間性をとおして、学校の取り組みを評価する。今年の評価が今後の学校運営に大きな影響を及ぼすことになる。信頼される学校となるためには、すべての先生方の力が必要不可欠である。

(2) 評価項目

- ①学習指導 ②基本的生活習慣の確立 ③進路指導 ④特別活動・キャリア教育 ⑤参画・経営

(3) 評価の観点、評価基準等

①学習指導

- ・チャイム to チャイムを意識し、学習の意義を理解させ、日々の授業を大切にしている。
- ・「朝の学習」を充実させ、学びに向かう集団を形成している。
- ・学習環境を整えるために5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。
- ・年間計画やシラバスに沿った学習指導を行い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。
- ・研究指定事業を活用し、指導と評価の一体化を進めるなど授業改善や教材研究に努めている。
- ・生徒の能力や実態に合わせた個別指導を充実させている。

②基本的生活習慣の確立

- ・あいさつを励行させ、正しい言葉遣いが身に付いている。
- ・交通マナーや携帯電話マナーの向上などに取り組み、規範意識が身に付いている。
- ・学校行事や生徒会活動、部活動などをとおして自主性・自立性を育む。
- ・自分は大きな存在で、社会の重要な構成員であることを自覚させている。
- ・人権教育や主権者教育を推進し、いじめや差別のない社会の構築に寄与させている。
- ・教育相談を充実させ、安全安心な教育環境を確保し、予防的な生徒指導に努めている。

③進路指導

- ・とちぎの高校生じぶん未来学等を通して、自分の性格や適性など自己理解に努めている。
- ・学年に応じたキャリア教育を充実させ、生徒一人一人の進路実現を図っている。
- ・「社会人基礎力」（経済産業省 2006 年提唱）は職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力であり、具体的には「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力をさまざまな教育活動の中で育成している。

④特別活動・キャリア教育

- ・出前授業や中学校訪問などを活用し、中学生から選ばれる学校を目指している。
- ・地域や関係機関との連携を充実させ、学校ホームページでタイムリーに情報発信している。
- ・自己評価及び学校関係者評価に関して、目標と手段を区別しながら教育活動を検証している。
- ・内側にも開かれた学校評価を推進し、課題解決に向けた情報共有に努めている。

⑤参画・経営

- ・ホウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談)を重視し、教育的愛情と使命感を持って指導している。
- ・共助を大切にし、常に教育活動の改善を図っている。
- ・全ての教育活動の基盤となる安全確保を重視している。
- ・意欲的に教職員としての資質・能力の向上に取り組み、充実した教職員生活を目指している。

(4) 評価実施時期及び実施方法

評価実施時期	実施方法（内容）
5月～10月	アンケートの設問作成（マークシート方式）
11月頃～	アンケートの実施（生徒、保護者、職員 同時配布）および集計
1月上旬	アンケートの結果検討
1月中旬	自己評価の実施および集計
1月下旬	自己評価の検討および問題点・改善策の洗い出し
1月下旬	実施する改善策の検討
1月下旬～	学校関係者評価（学校評議員会）の実施
2月中旬	改善策の実施
3月上旬	実施した改善策の評価

(5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

1月下旬頃、学校関係者評価委員会（学校評議員・PTA会長）において自己評価並びに問題点・改善策を公表し、助言を受ける。自己評価ならびに問題点・改善策は、PTA新聞に公表する。
また、ホームページ上でも公開し、PTA総会等でも適宜報告する。

(6) 評価結果

令和5(2023)年度 学校評価アンケートのまとめ(別紙)

集計結果を記号化し、各設問の回答「はい」と「どちらかと言えばはい」の合計の割合(%)を「A」は80%以上、「B」は60%以上、それ未満は「C」とした。

(7) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

2月の職員会議で、アンケートの集計結果を公表した。

3月の会議に向けて、集計結果に伴う「問題点並びにその改善案」の検討時期を設けた。

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み、改善につなげる。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

・学校関係者評価委員（学校評議員）

佐藤 倫幸（企業関係者）
小林孝之助（自治会等関係者）
田鶴 大輔（学識経験者）
帆足 康世（同窓会関係者）
新井 庸一（団体職員）

(2) 評価実施時期及び実施方法

1月下旬頃に学校関係者評価を実施するなか、アンケート結果、職員の自己評価、問題点と改善策を公表し、それに対する学校評価委員会での検討結果（分析・改善方策）を報告して、助言・評価を受ける。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

年度末頃に、学校関係者評価とそれに関連した改善点を検討し、ホームページ上で公開する。また、PTA総会等でも適宜報告する。

(4) 評価結果

令和5（2023）年度学校評価アンケート結果（別紙）
学校評議員の皆様からの意見（別紙）

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

校務分掌の各部・係を中心に、関係するそれぞれの課題とその対応策を継続して取り組み、改善につなげる。

3 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

- ①学校行事・年間計画・月間計画等
- ②教育活動成果の発信（資格取得・部活動大会報告等）
- ③進路情報
- ④教育活動内容の発信
- ⑤入学者選抜情報の提供

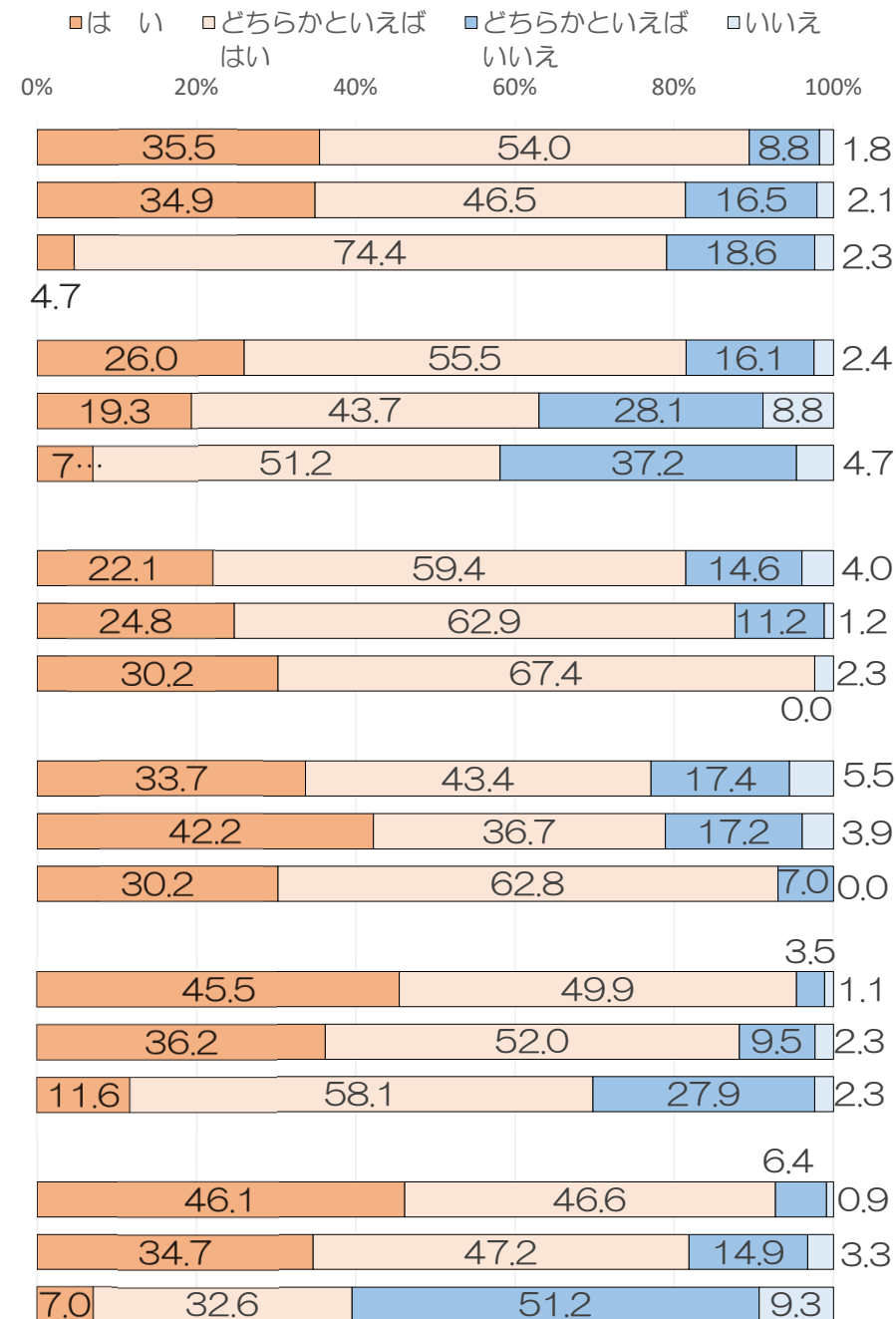
(2) 提供方法

- ①生徒や保護者への配付資料に加え、ホームページを活用し、生徒・保護者に最新情報を広報に発信する。
- ②わたらせケーブルテレビ、両毛新聞、商工会議所ニュース等を活用して、学校近隣を中心に発信する。
- ③地域の回覧板等を利用した情報提供を行う。
- ④中学校訪問や校外施設を利用した広報活動の際、情報提供を行う。

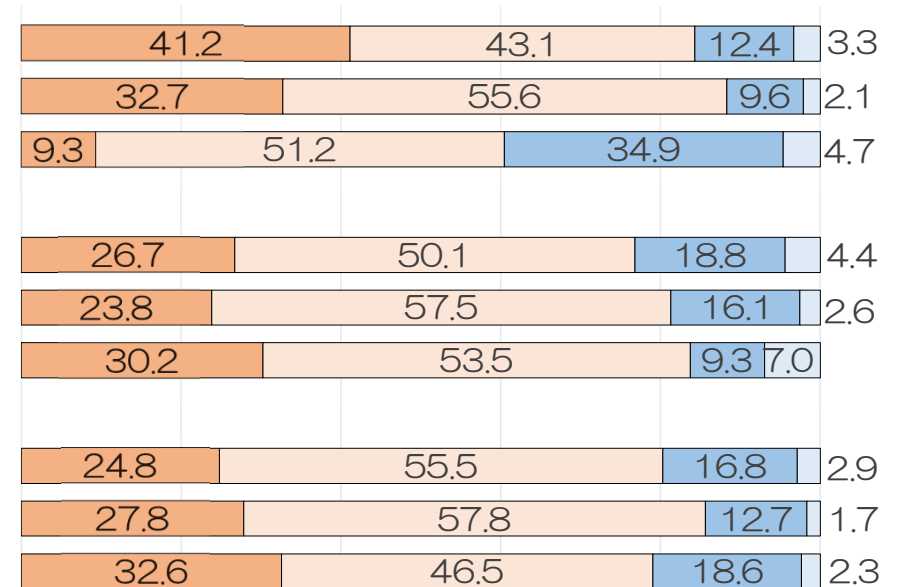
※評価は、「はい」「どちらかといえばはい」の合計の割合が、「A」は80%以上、「B」は60%以上、それ未満は「C」

教育目標		令和5(2023)年度 学校評価アンケート結果 回答数(生徒:454、保護者431、職員43)		は い	と ど ち ら か と い え ば	と ど ち ら か と い え ば	い い え	評 価	学 校 評 価	関 係 者 評 価
1 学習意欲の高揚	設問1	生	私は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	35.5	54.0	8.8	1.8	A	A	A
		保	お子様は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	34.9	46.5	16.5	2.1	A		
		職	大半の生徒は、学習の意義を理解し、日々の授業を大切にしている。	4.7	74.4	18.6	2.3	B		
	設問2	生	私は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	26.0	55.5	16.1	2.4	A		
		保	お子様は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	19.3	43.7	28.1	8.8	B		
		職	大半の生徒は、5S運動を推進し、身の回りの整理・清掃・整頓を徹底している。	7.0	51.2	37.2	4.7	C		
	設問3	生	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	22.1	59.4	14.6	4.0	A		
		保	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	24.8	62.9	11.2	1.2	A		
		職	本校は、わかりやすい授業を行うために工夫をしている。	30.2	67.4	0.0	2.3	A		
	設問4	生	私は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	33.7	43.4	17.4	5.5	B		
		保	お子様は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	42.2	36.7	17.2	3.9	B		
		職	大半の生徒は、資格取得に積極的に取り組んでいる。	30.2	62.8	7.0	0.0	A		

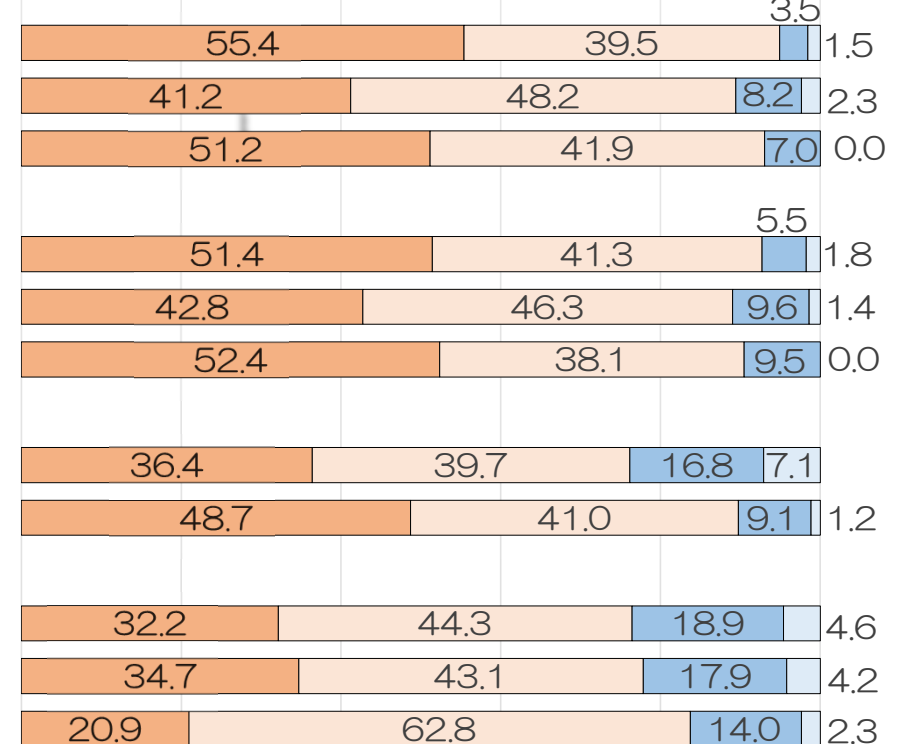
2 基本的生活習慣の	設問5	生	私は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	45.5	49.9	3.5	1.1	A	A	A
		保	お子様は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	36.2	52.0	9.5	2.3	A		
		職	大半の生徒は、挨拶を励行し、正しい言葉遣いを身に付けている。	11.6	58.1	27.9	2.3	B		
	設問6	生	私は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	46.1	46.6	6.4	0.9	A		
		保	お子様は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	34.7	47.2	14.9	3.3	A		
		職	大半の生徒は、交通マナーや携帯電話マナーの向上に取り組み、規範意識を身に付けている。	7.0	32.6	51.2	9.3	C		



確立と自己有用感の醸成	設問 7	生	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	41.2	43.1	12.4	3.3	A	↑	↑
		保	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	32.7	55.6	9.6	2.1	A		
		職	本校では、部活動や生徒会活動が活発に行われている。	9.3	51.2	34.9	4.7	B		
	設問 8	生	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	26.7	50.1	18.8	4.4	B		
		保	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	23.8	57.5	16.1	2.6	A		
		職	本校は、いじめへの気づきや対応に、真摯に取り組んでいる。	30.2	53.5	9.3	7.0	A		
	設問 9	生	本校は、教育相談活動が充実している。	24.8	55.5	16.8	2.9	A		
		保	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	27.8	57.8	12.7	1.7	A		
		職	本校は、教育相談活動を充実させ、予防的な生徒指導に努めている。	32.6	46.5	18.6	2.3	B		



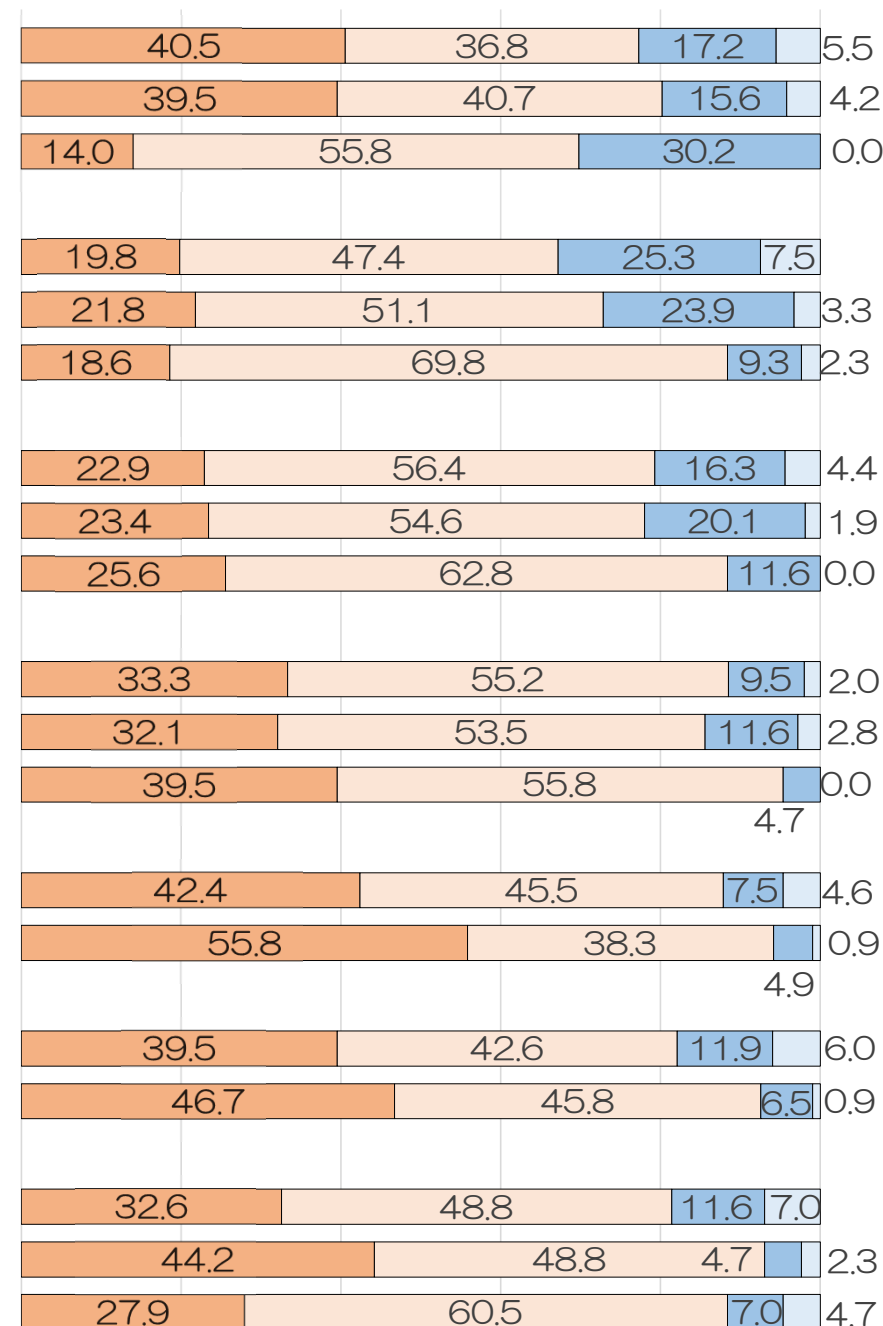
3 進路指導の充実と社会人基礎力の育成	設問 10	生	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	55.4	39.5	3.5	1.5	A	A	A
		保	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	41.2	48.2	8.2	2.3	A		
		職	本校の教員は、進路に関する相談に誠実に対応している。	51.2	41.9	7.0	0.0	A		
	設問 11	生	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	51.4	41.3	5.5	1.8	A		
		保	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	42.8	46.3	9.6	1.4	A		
		職	本校の教員は、生徒の早期進路決定に向け、適切に指導している。	52.4	38.1	9.5	0.0	A		
	設問 12	生	将来のことについて、家族で話し合うことがある。	36.4	39.7	16.8	7.1	B		
		保	将来のことについて、家族で話し合うことがある。	48.7	41.0	9.1	1.2	A		
	設問 13	生	私は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	32.2	44.3	18.9	4.6	B		
		保	お子様は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	34.7	43.1	17.9	4.2	B		
		職	大半の生徒は、進路目標を持ち、その実現に向けて努力している。	20.9	62.8	14.0	2.3	A		



4	設問14	生	私は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	40.5	36.8	17.2	5.5	B	A	A
		保	お子様は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	39.5	40.7	15.6	4.2	A		
		職	大半の生徒は、生徒会活動やHR活動、部活動や学校行事に積極的に参加している。	14.0	55.8	30.2	0.0	B		
	設問15	生	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	19.8	47.4	25.3	7.5	B		
		保	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	21.8	51.1	23.9	3.3	B		
		職	本校は、地域のボランティア活動や中学校・他の高校との交流が盛んである。	18.6	69.8	9.3	2.3	A		
	設問16	生	本校は、ホームページやパソコンソフト配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	22.9	56.4	16.3	4.4	B		
		保	本校は、ホームページやパソコンソフト配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	23.4	54.6	20.1	1.9	B		
		職	本校は、ホームページやパソコンソフト配布等で学校の情報発信を適切に行っている。	25.6	62.8	11.6	0.0	A		
	設問17	生	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	33.3	55.2	9.5	2.0	A		
		保	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	32.1	53.5	11.6	2.8	A		
		職	本校では、生徒・保護者および地域住民等への対応について、誠意を持って行っている。	39.5	55.8	4.7	0.0	A		
	設問18	生	私は、本校に入学して良かったと思う。	42.4	45.5	7.5	4.6	A		
		保	お子様を、本校に入学させて良かったと思う。	55.8	38.3	4.9	0.9	A		
	設問19	生	学校は安全で、安心して登校できる。	39.5	42.6	11.9	6.0	A		
		保	学校は安全で、安心して登校させることができる。	46.7	45.8	6.5	0.9	A		

※5	17	職	本校では、報告・連絡・相談を重視し、教育的愛情と使命感を持って教育活動に当たっている。	32.6	48.8	11.6	7.0	A	A	A
	18	職	本校は、常に安全確保を重視し、教育活動を行っている。	44.2	48.8	4.7	2.3	A		
	19	職	本校の教員は、教員としての資質・能力の向上に取り組み、常に教育活動の改善を図っている。	27.9	60.5	7.0	4.7	A		

※ 5 チームとしての教育力を高め、協働する組織づくり（職員のための設問）



学校評議員の皆様からの意見について

1 学校評価アンケートの結果についての意見

(1) 調査結果から感じられること

- それぞれのアンケート項目は高い次元で達成されていると感じる。
- 生徒と職員とで差がある部分は、判定の基準や認識、考え方に差があるのではないかと感じる。その差を明確にわかりやすくして、こうあるべきだよと指導して頂ければと思う。
- どの設問に対しても一定数の「いいえ」が見受けられる。いじめへの気づきや対応、安全で安心して登校できるなどの設問で、なぜ「いいえ」を選択したのか聞くべきだと思う。
- A評価は、日頃から真摯に取り組む学校職員の努力の賜物であるとともに、生徒・保護者・職員3者の信頼関係がしっかりと構築されているのではないかと感じる。一部、評価が真逆な設問は、「親の心子知らず」といったところではないか。

2 本校の強みや弱み

【強み】

- 多岐にわたる企業、自治体との連携事業を生徒が関われる取組。
- 豊富な求人実績。
- 技術・知識・コミュニケーション力を習得できる。
- 求人企業数が総じて増加している。
- 課題研究をはじめとする様々な取組により、早くから社会に関わる経験が出来る。
- 普通科よりも社会に出る準備（心構え）が備わる。

【弱み】

- 現在の強みを継続していくための若手教員の育成。
- 県立高ならではの、空調などの施設環境面。
- 進学する動機付けが少ない。

3 本校に期待すること

- 生徒研究発表会などは、外部（特に近隣中学校）を招待して行くと地域が活性化すると思う。
- 足工の強みを継続し、社会に羽ばたきやすい生徒を育ててほしい。
- 様々な取組を継続していくことは大変なことも多いと思うが、素晴らしい取組を継続してほしい。
- 男女の割合を同じくらいに出来る学科（例えば、看護科など）が増えること。工業＝男子校ではもったいない。